



みやぎの木づくり運動

# みやぎ材 利用のススメ

〈みやぎ材活用事例集〉VOL.20

# みやぎの木づくり運動

～身近なところからみやぎの木を使おう～

## どうしてみやぎの森林を守るの？

宮城県は県土の約60%が森林であり、緑豊かな県です。また、森林には木材やきのこなどの林産物の供給のほか、水資源のかん養、災害の防止など多くの役割があります。中でも特に、地球温暖化防止の観点から国際的に森林の大切さが重要視されています。

## 森林は二酸化炭素を吸収し固定してくれます

木は光合成によりCO<sub>2</sub>を吸収し、炭素(C)として体内に蓄えます。木が伐採され、家の柱や家具として利用される間もその効果は続きます。

そして、伐採した跡地に新しい木を適切に植えることで、再びたくさんのCO<sub>2</sub>を吸収し、その体内に炭素として蓄えてくれます。

木をたくさん使い、適切に木を伐採し、新しい木を植える。みやぎの豊かな森林を守り、そしてカーボンニュートラルの実現に貢献するためには、木材を積極的に活用し、「伐って、使って、植える」という森林資源のサイクルを作ることがとても大切です。



## みやぎの木づくり運動シンボルマーク

みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。



## みんなで使おう「みやぎの木」

県民のみなさまへ「みやぎの木」に触れていただく機会をたくさんつくり、県産材の利用促進を図るため、様々な支援やPR活動を行っています。



## みやぎの木に親しむ みんなで広げる木育活動

『木育』は、子どもをはじめとするすべての人が、「木と触れ合い、木に学び、木と生きる」取組を通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる、豊かな心を育むことを目的としています。

また『木育』では、木と五感で触れ合うことを通じて、人や自然に対する「思いやり」や「優しさ」を育むことや、身近な人や木で遊び、木に学び、モノを作る経験を通じて楽しさや喜びを共感し、地域や社会、産業への関心に繋げることを目指しています。

県では、各地で普及活動を行うほか、民間団体等が行う木育活動とも連携し、さらなる森林保全や林業振興を進めるため、『木育』活動の普及を推進していきます。



## 第48回全国育樹祭が 宮城県で初めて開催されました

全国育樹祭とは、継続して森を守り育てることの大切さを国民に伝えるため、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催で毎年秋に行われている国民的な緑の祭典です。令和7年10月4日・5日に開催された第48回全国育樹祭が、宮城県では初めての開催となりました。

お手入れ行事に使用したお手入れ道具やベンチ、式典行事ステージやバックパネルには、宮城県産の木材をふんだんに使用しました。

第48回全国育樹祭の開催を契機に、宮城県の森林・林業を広く全国に発信しました。



## 全国育樹祭のステージを「つみき」に 変身、未来を担う子どもたちへ

第48回全国育樹祭の大会テーマは「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」でした。式典会場のメインステージで使用した宮城県産スギのフローリングを再利用し、つみきへと変身させ、県内の希望する幼稚園に配布しました。「みやぎの木」にたくさん触れ合うことを通じ、大会終了後も継続して森を守り育てることの大切さを、未来を担う子どもたちにつないでいきます。

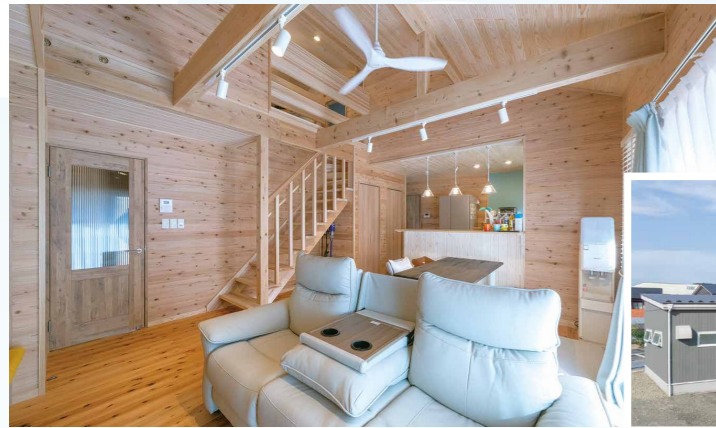


## みやぎの木で建てる住まい

### 県産材利用サステナブル住宅普及促進事業(新築住宅支援)

地球温暖化防止や林業・木材産業等の活性化を促進するため、県産木材を一定以上使用した新築住宅の構造材や内装木質化へ支援を行っています。

#### 01 W邸

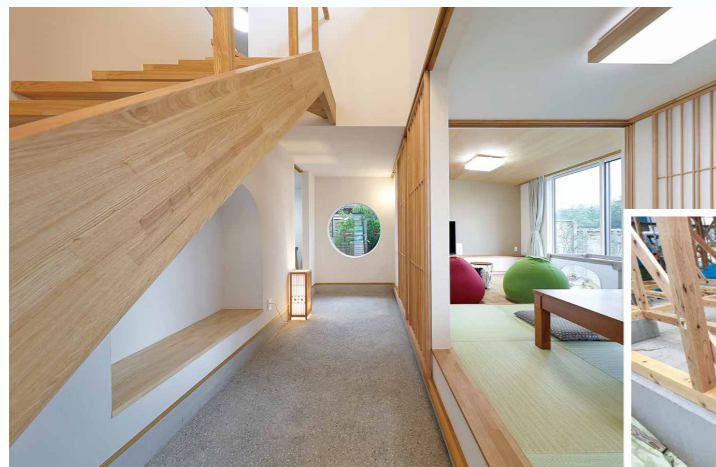


- 所在地/柴田郡大河原町
- 延べ床面積/128.35㎡
- 木材使用量/構造:19.8㎡(うち県産材13.7㎡)  
内装:5.3㎡(うち県産材4.7㎡)
- 特徴/外壁の一部に宮城県産杉材と、内部は床、壁、天井とも宮城県産杉材を使用して木の家が実感できる建物です。

#### 【施主様の声】

木を多く使った建物で、木の良い匂いを毎日感じることができます。家に居るのがとても癒されます。

#### 02 K邸



- 所在地/仙台市青葉区
- 延べ床面積/109.30㎡
- 木材使用量/構造:21.7㎡(うち県産材20.1㎡)
- 特徴/住まいの中心に「通り土間」がある。和の情緒を現代の暮らしへつなぎ、居場所にもなる、通り土間の家。

#### 【施主様の声】

柱や梁など多くの県産材を使用しています。しっかりした丈夫な家が出来ました。

#### 03 K邸

令和7年度事業より、ツーバイフォー工法へも補助が利用しやすくなりました



- 所在地/仙台市青葉区
- 延べ床面積/116.69㎡
- 木材使用量/構造:29.8㎡(うち県産材13.8㎡)
- 特徴/県内では珍しい外張り断熱と県産材が融合。高い断熱性能と県産材の温もりで、冬でもぽかぽか快適な住まいです。

#### 【施主様の声】

私は生粋の宮城人です。同郷の木たちに包まれて暮らすのが楽しみです!

## みやぎの木にたくさん触れる

### みやぎ木づくり月間

宮城県では、毎年9月から11月までを「木づくり月間」と定めて、木材利用の促進に関する様々な取組を行っています。

#### みやぎの木製品展2025

県民のみなさまにみやぎの木製品をPRする場として、県庁18階の県政広報展示室で「みやぎの木製品展2025」を開催しました。3回目となる今回は合計11団体さまに出展いただき、約800人の方に来場いただきました。



#### 山の幸販売会へも参加!

木製品展に参加した事業者さまのうち、2団体が11月の山の幸販売会にも参加し、県産木製品をPRしました。



#### 第18回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクール

時代を担う子どもたちに身近な森林や木材の良さを知ってもらうため、みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクールの後援を行っています。今年度は132点もの応募があり、計22点について入賞となりました。

令和7年10月18日(土)には、宮城木材文化ホールにおいて表彰式が行われました。



小学校中学年の部に入賞のみなさん

小学校高学年の部 宮城県知事賞

宮城県知事賞を受賞した作品を  
県庁1階で展示しました

## 未来にのこるもの。みやぎの広葉樹

宮城県産広葉樹の利用拡大を推進するため、県産広葉樹の認知度向上を目指し、魅力を発信する広報活動を展開しています。県内の木材加工業者さまなどを紹介するパンフレットの作成をはじめ、県産広葉樹に触れて体験し、その良さをPRする取組を行っています。



デジタルパンフレットはこちらから



## 広葉樹の商品化を応援 ～商品化スタートアップ支援事業

これまで利用が低位であった広葉樹資源の有効活用を図るため、県産広葉樹をつかった製品の開発・製造の取組及び普及PR活動を支援し、広葉樹の付加価値向上による新たなビジネスモデルの構築を目指しています。



## 県庁にも広葉樹を

県庁舎2階の講堂前のロビーに、県産広葉樹をたっぷり活用した家具を設置しました。多くの来庁者の方に利用いただき、みやぎの広葉樹にたくさん触れていただいております。



## 県産広葉樹を知る、触れる — 県産広葉樹のプロモーション —

令和8年2月15日(日)に、イオンモール新利府北館北イベントコートにて、県民のみなさまに向けて、県産広葉樹について「学んで・触れて・つくる」を体験するワークショップを開催しました。ワークショップの前に講師の方から広葉樹についてのミニ講義もいただき、広葉樹と私たちの暮らしとのかわりについて考えながら、広葉樹の魅力に触れていただきました。



## 木づかい文化の継承 ～県産木材を活用した木桶・木樽プロジェクト

### ● 県産スギ×木桶醸造

木桶醸造という伝統的な木材の利用方法を「木づかいの文化」と捉え、木材の多様性・機能性・価値を改めて認識してもらうことを目的として、県林業職員が連携し、木材加工業と醸造元のマッチングとPR活動に取り組んでいます。県産スギを使用した精度の高い半切桶を製作され、その半切桶を使用した日本酒の仕込みが行われています。

### ● 県産広葉樹×木樽醸造

木桶のノウハウを生かし、ワイナリーやウイスキー蒸留所で使われる、酒類貯蔵用木樽についても、県産広葉樹で製作したい!と、製作に挑戦しています。



県産スギの半切桶で日本酒を仕込む



県産広葉樹で試作した酒類貯蔵用木樽

## もっともっと、木であふれるみやぎへ

### 建築物木材利用促進協定を締結【宮城県第1号】

宮城県と鹿島建設株式会社東北支店は、都市(まち)の木造化推進法に基づく「建築物木材利用促進協定」を締結しました。令和8年2月2日(月)には協定締結式を執り行い、村井知事と横井執行役員東北支店長が協定書に署名をしました。



#### 健全な森林の育成と脱炭素社会の実現を目指す 建築物木材利用促進協定 締結式



### CLTでできる、こんなこと — 持続可能な地域材の適材適所での活用 —

県では、非住宅建築物や工作物の木造化を推進するため、CLT等の普及拡大に向けて様々取り組んでいます。

#### ユニット展示in県庁1階

令和7年3月17日から19日まで、JR東日本建築設計が開発した県産CLTを活用した駅関連施設用のユニットの原寸大模型を県庁舎1階ロビーに展示しました。

JR東日本では、東北初のCLT駅舎実現に向け、宮城県内の小規模駅舎で建て替えの検討を進めており、このユニットの製作により、コスト削減や工期短縮等が図られ、駅舎等への活用が期待されます。



#### 林道工事

@ 東部地方振興事務所

林道工事において、地域産材を使用したCLTでガードレールの鋼製ビームを木製ビームとして、仮設橋の鋼製覆工板を木製覆工板として施工し、循環型社会の構築に向けた取組を実施しました。併せて、植生基材吹付工で使用されるプラスチック製スペーサーを木製スペーサーに代えて施工し、環境負荷の低減を目指しました。



ガードレール



仮設橋



スペーサー

## みやぎの木を活用した建築物施行事例

### 01 セイホクテック株式会社



- 所在地 / 仙台市青葉区(うち宮城県産材使用量)
- 延べ床面積 / 延床面積: 538.26㎡
- 木材使用量 / 主要構造部等: 98.8㎡(うち宮城県産材使用量98.8㎡)  
内装: 2.0㎡(うち宮城県産材使用量2.0㎡)
- 竣工時期 / 令和7年3月
- 特徴 / 2×6工法の建物で、全ての構造躯体を国産材LVL(単板積層材 / 西北プライウッド製)で建築し、さらに1階と2階床下地には国産材構造用合板50mmを採用し、壁、屋根下地材は12mmの国産材構造用合板で建築しました。内装壁にはLVLやパーティクルボードを様々なデザインで工夫しながら木質化し、室内環境の向上に努めました。

### 02 竹駒の杜CAFE 一粒万倍



- 所在地 / 岩沼市
- 延べ床面積 / 187.46㎡
- 宮城県産材使用量 / 垂木: 5.52㎡、建具: 0.72㎡、什器: 0.51㎡
- 開業時期 / 令和6年12月
- 特徴 / 木材は宮城県登米市の森林組合と連携し地域樹種を選定。一般的に流通が難しいナラ枯れ材も什器などに活用。入口の扉はケヤキ、その他の扉はヤマザクラを、テーブルや椅子などオリジナル什器には腐食により倒木の可能性があった神社敷地内に生育するヒマラヤ杉やモミなどを伐採し使用。多様な樹木が作り出す豊かな森の空気感を内部空間に取り入れました。  
※再利用した樹木には、竹駒神社の焼印をメッセージとして施しています。

# 宮城県産材の活用で利用できる宮城県の補助金

令和8年3月時点での情報です。詳しくは下記お問合せ先までご連絡ください。

地元の木を使って住宅を建てたい・リフォームしたい方へ

## 県産材利用サステナブル住宅普及促進事業

### (1) 新築住宅支援

#### ① 主要構造部等

- 概要: 県産材を一定以上使用した新築住宅の施主に対し、その使用量に応じて支援します。
- 補助金額: 新築住宅1棟当たり上限50万円(子育て又は県外からの移住世帯は上限75万円)  
県産森林認証材等の使用で上乘せあり
- 事業量: 400棟程度(うち子育て又は県外からの移住世帯230棟)

#### ② 内装木質化、木製品配備

- 概要: 主要構造部等の要件を満たし、県産材を一定以上使用した内装等へ支援します。
- 補助金額: 木材費等の1/2以内(上限30万円)(子育て又は県外からの移住世帯は3/4以内(上限45万円))
- 事業量: 50棟(うち子育て又は県外からの移住世帯15棟)

### (2) 住宅リフォーム支援

- 概要: 県産材を一定以上使用したリフォームの施主に対し、その使用量に応じて支援します。
- 補助金額: リフォーム1件当たり上限20万円
- 事業量: 10件程度

※これは、「みやぎ環境税」活用事業です。



「みやぎの木」を使って建築をしたい方・内装や家具を木質化したい方へ

## みやぎの木であふれる建物支援事業 **NEW!**

### (1) 非住宅建築物等建築支援事業

- 概要: 非住宅建築物を建築する、県内に拠点(本社、支社等)を有する民間事業者(市町村を除く)に対して支援します。
- 補助対象経費: 県産材購入費等
- 補助率: 1/2以内(上限1,000万円)  
※県産CLTや県産森林認証材を使用した場合は上乘せあり
- 事業量: 2件程度

### (2) 内装木質化・木製品配備支援事業

- 概要: 内装木質化や木製品を配備しようとする県内に拠点(本社、支社等)を有する民間事業者(市町村を除く)に対して支援します。
- 補助対象経費: 県産材購入費等
- 補助率: 1/2以内(上限: 内装木質化200万円、木製品配備100万円)  
※県産森林認証材を使用した場合は上乘せあり
- 事業量: 内装木質化5件程度、木製品配備5件程度

※これは、「みやぎ環境税」活用事業です。

施主が市町村の場合は類似の別事業をご案内しますのでお問合せください(別途要件あり)。



県産広葉樹を使ってみたい方へ

## 広葉樹流通システム事業

### (1) 流通システムスタートアップ事業

- 概要: 有用広葉樹の流通に携わる、宮城県に所在を置く団体等に対して支援します。
- 補助対象経費: 有用広葉樹の流通に係る経費
- 補助率: 1/2以内(上限50万円)
- 事業量: 2件程度

### (2) 商品化スタートアップ事業

- 概要: 広葉樹製品の新たな開発や製造に取り組む、県内に所在を置く個人や団体等
- 補助対象経費: 広葉樹製品の商品開発に関する経費の支援(試作品製作・機械・器具等の整備・導入経費)
- 補助率: 1/2以内(上限50万円)
- 事業量: 2件程度



お問い合わせ先

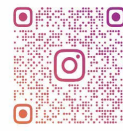
宮城県 水産林政部 林業振興課 木材産業振興班(旧:みやぎ材流通推進班)

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 TEL:022-211-2912 FAX:022-211-2919

ホームページ: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/> E-mail: [rinsinf@pref.miyagi.lg.jp](mailto:rinsinf@pref.miyagi.lg.jp)

宮城県水産林政部  
公式Instagram

みやぎの水産業・  
林業の情報を発信中



UMIYAMAHIITO.MIYAGI



この印刷物は環境に優しい  
植物油インキを使用しています。

※この冊子は、みやぎ環境税を活用して作成しています。

※この冊子の印刷に伴い排出された温室効果ガスは、宮城県内の森林整備により創出されたJ-BERクレジットによりカーボン・オフセットされています。  
※この冊子は、再生紙を使用しています。 ※この印刷物は2,000部作成し、1部あたりの単価は90円です。